

タイトル	北海学園大学人文学部開設30周年記念シンポジウム 新人文主義のフロンティア - 「耕すこと」と「食べる こと」から考える人文学の可能性 -
著者	
引用	年報新人文(20): 120-123
発行日	2023-12-25



---

北海学園大学人文学部開設30周年記念シンポジウム

# 新人文主義のフロンティア

—「耕すこと」と「食べること」から考える人文学の可能性—

日時 2023年9月30日（土）13：20～16：45

会場 北海学園大学8号館B41教室

---

北海学園大学人文学部開設30周年を記念して、標題のシンポジウムを開催した。当学部開設趣旨である「新人文主義」が持つ課題と可能性を探るため、京都大学人文科学研究所准教授の藤原辰史氏による基調講演、当学部より英米文化学科教授の小松かおり、日本文化学科教授の郡司淳による発題の後、会場の参加者も含めた質疑応答により議論を深めた。

# 開会挨拶／趣旨説明

人文学部 学部長（英米文化学科教授） 小松 かおり

皆さん今日はようこそいらっしゃいました。今日のシンポジウムは、1993年に人文学部が開設されて30年ということで企画いたしました。人文学部と文学研究科は「新人文主義」を掲げております。これは、古典的な人文主義を継承しつつ、人間中心主義、西洋中心主義を超えた人文学を考えたいという趣旨です。北海道の地からこの人文主義を考えるにあたり、東京中心ではなくフロンティアからという意味合いも込めて伝えたいと思っています。ただし、「フロンティア」は植民地主義という現象も付随していることも忘れてはなりません。現代の複雑な世界を理解するために、私たちはこれからも新人文主義のもとに学生を指導し、研究をしていきたいと思っています。

今日はこのテーマにぴったりのゲストスピーカーとして、京都大学の藤原辰史さんにおいでいただきます。藤原さんのご講演、学部の教員の話が二題あり、その後討論の時間を設けておりますので、どうぞ皆さま最後まで楽しんでいただければと思います。

# 学長挨拶

北海学園大学学長 森下 宏美

本日は人文学部開設30周年記念シンポジウムにお越しいただきまして、ありがとうございます。私が本学に赴任したのは1995年で、人文学部が3年目を迎える時でした。その当時、人文学部草創期の先生方の顔を思い出し、非常に懐かしく思っております。

この間人文学部は、「新人文主義」「新人文文学」を掲げて北海学園大学の人文学部としての教育・研究の方向を定め、さまざまな活動を繰り広げてきました。この「新人文主義」「新人文文学」は、自然の中でさまざまな文化を生み出しながら生きていく、そういった人間の営みを総体・全体として捉えていこうという志ではないかと、私なりに受け取っております。その志には共鳴するところが大有りあります。

これから本学がどのような方向に進んでいくか、その一つの方向としては、5つの学部が培ってきたさまざまな知見、あるいは教育・研究の蓄積、これらを未来・社会に組み替えていくための総合的な知識、知恵にまで高めていく。そのことよって本学がこの北海道で果たす役割は、非常に大きいと思っています。現在、文理融合が言われていますが、私はもう一つ「文文の融合」、つまり人間や社会、文化を考える、分析していくさまざまな分野がある中、そこで培われた知識を一つの総合知に高めていく努力が、我々の挑戦だと思っています。その意味で「新人文主義」を掲げられている人文学部の皆さんのこれからの研究、教育に大いに期待しています。これからも人文学部の皆さんのさらなるご活躍を祈

念いたしません。

北海学園大学人文学部開設30周年記念シンポジウム

# 「耕すこと」と「食べること」から考える人文学の可能性

予約不要  
入場無料

2023年  
9月30日

13:20~16:45 【12:50開場】

北海学園大学 会場

豊平キャンパス8号館4階 B41教室

札幌市豊平区旭町4丁目1番40号

地下鉄東豊線「学園前」駅下車3番出口

基調講演 13:30~14:30

## 食と農の人文学

—人間を深く考えるための人間中心主義批判—

藤原 辰史 氏 京大大学人文科学研究所・准教授



### プロフィール

1976年旭川市生まれ、島根県横田町（現奥出雲町）出身。京大大学人文科学研究所助手、東京大学農学生命科学研究科講師を経て、現職。専門は農業史と環境史。

著書に、『ナチス・ドイツの有機農業——「自然との共生」が生んだ「民族の絶滅」』（柏書房、第1回日本ドイツ学会奨励賞）、『ナチスのキッチン——「食べること」の環境史』（水声社/共和国、第1回河合肇雄学芸賞）、『給食の歴史』（岩波新書、第10回辻静雄賞文化賞）、『分解の哲学——腐敗と発酵をめぐる思考』（晋土社、第41回サンクトレー学芸賞）、『鎌倉論——食と共食のあいだ』（ミシエ社）、『農の歴史の史的考察——「農学論」から農業史へ』再考』（前元社）、『食物考』（生きのびるブックス）など多数。2019年には第15回日本学術振興会賞を受賞。

14:30~15:00

### 「アフリカの農から考える人文学」

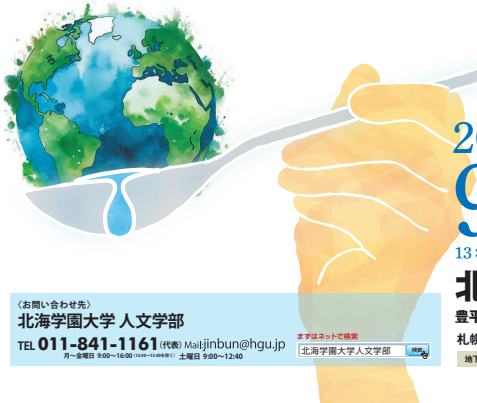
小松 かおり 北海学園大学人文学部英米文化学科・教授



15:00~15:30

### 「食の日本近代史 —「自分」を「主題」とした人文学の試み—

郡司 淳 北海学園大学人文学部日本文化学科・教授



お問い合わせ先

北海学園大学 人文学部

TEL 011-841-1161(代) Mailjinbun@hgu.jp

月~金曜日 9:00~16:00(土曜・日曜・祭日) 土曜日 9:00~12:40

本学ウェブサイト検索

北海学園大学 人文学部